



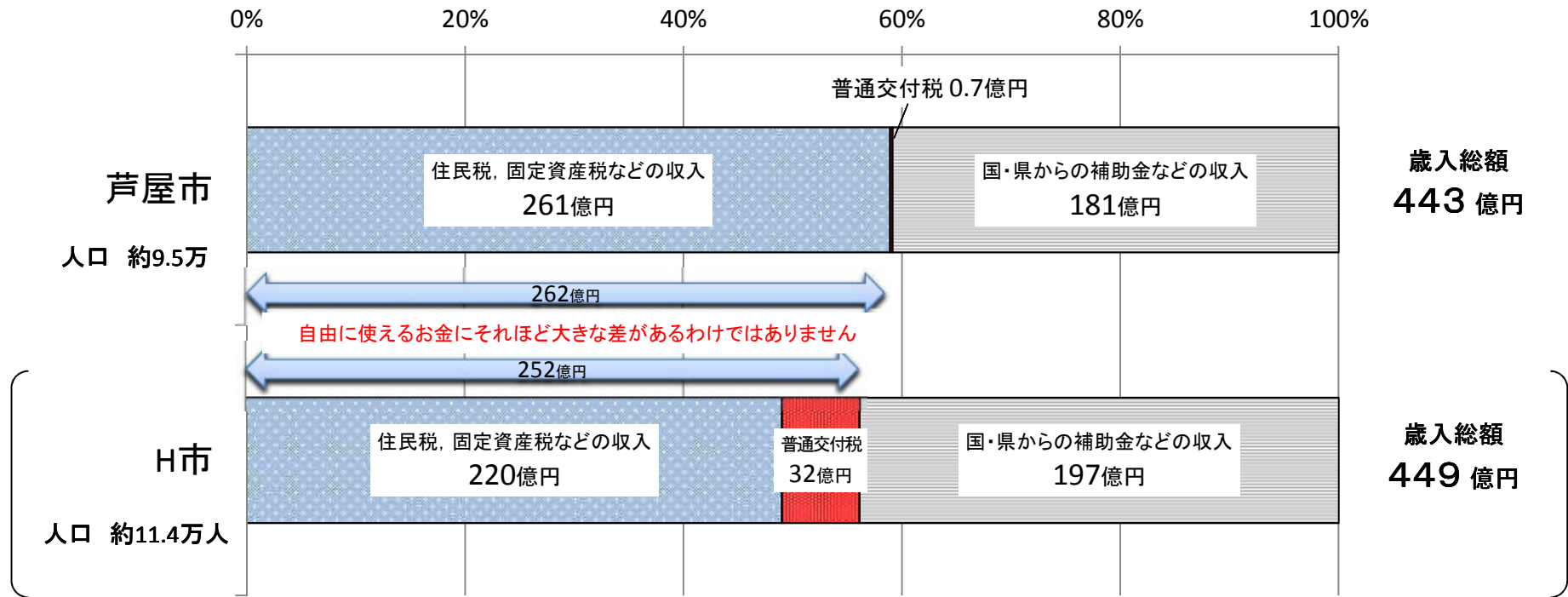
# 芦屋市のお財布事情

— 財政状況 —

令和元年10月  
Lunch Meeting

## 芦屋市の歳入の内訳（H30年度）

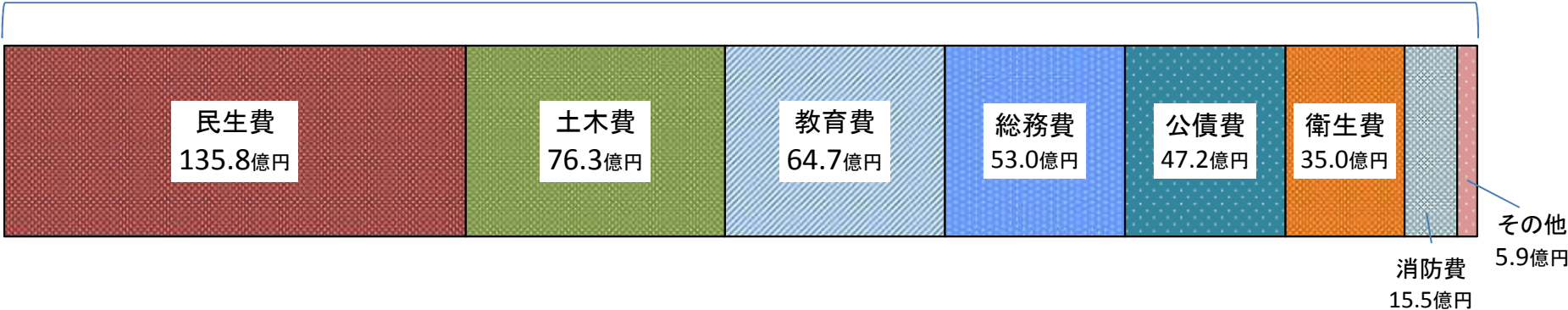
- ✓ 芦屋市には高所得者が多いため、同規模の自治体と比較して、歳入総額に占める市税収入※の割合が多くなっています。
  - ※「市税収入」とは、住民税や固定資産税の税収などをいい、市の判断により使うことができる収入です。
- ✓ しかし、市税収入が少ない自治体であっても、全国で等しく行政運営を行えるように国から交付される「普通交付税」によって、市が自由に使える収入の格差は調整（均てん化）されています。



## 芦屋市の歳出の内訳（H30年度）

- ✓ 市民生活をより良いものにするために、市は様々な分野に経費を支出しています。
- ✓ しかし、財源には限りがあるため、経費の内容を十分にチェックし、財源の有効活用に努めています。

歳出総額 433億円



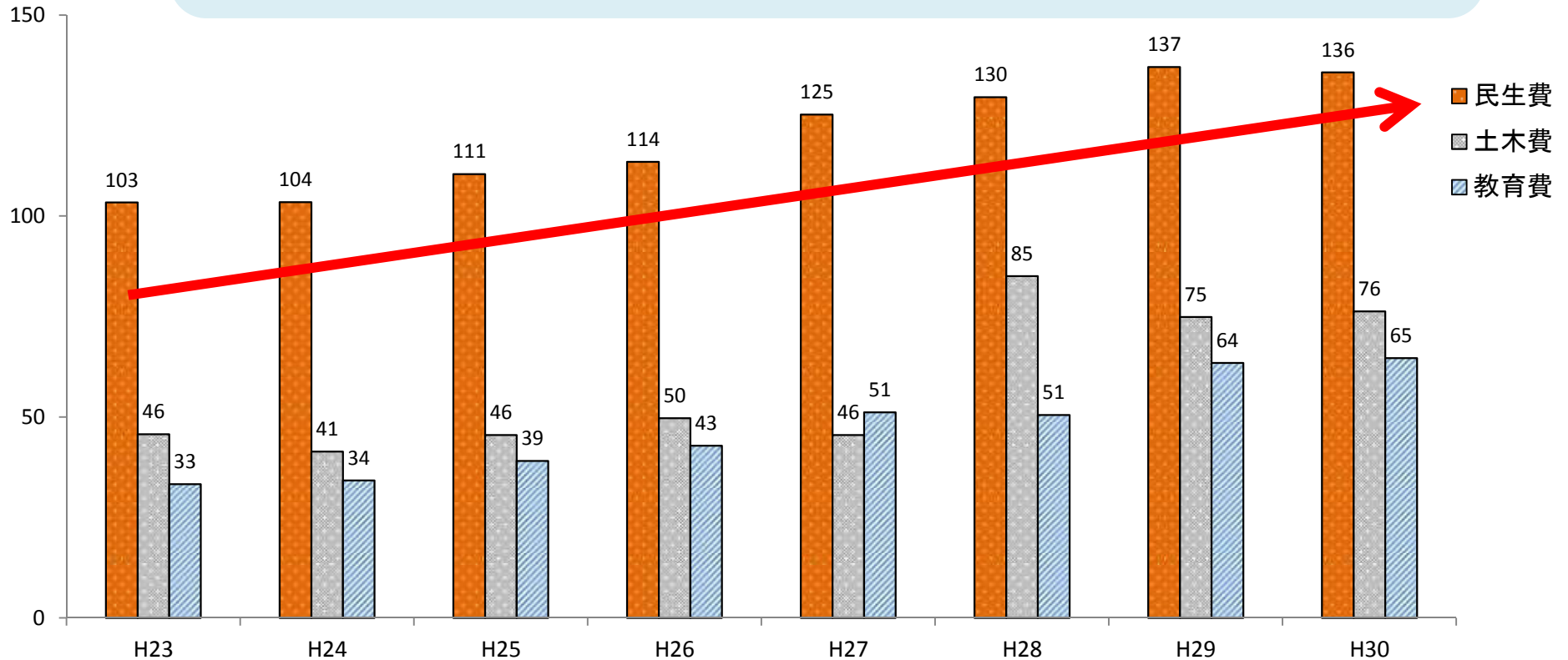
（毎年かかっている主な経費の例）

市立・私立 保育所、 こども園の運営費 27.4 億円	道路や公園の 維持管理費 9.7 億円	市立 小・中学校 の維持管理費 2.4 億円	地方債(借金) の返済費 47.2 億円	ごみの 処理費 14.3 億円	消防・救急 の経費 11.5 億円
-----------------------------------	---------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------	-------------------------

## 市の主な歳出の推移（H23～H30年度）

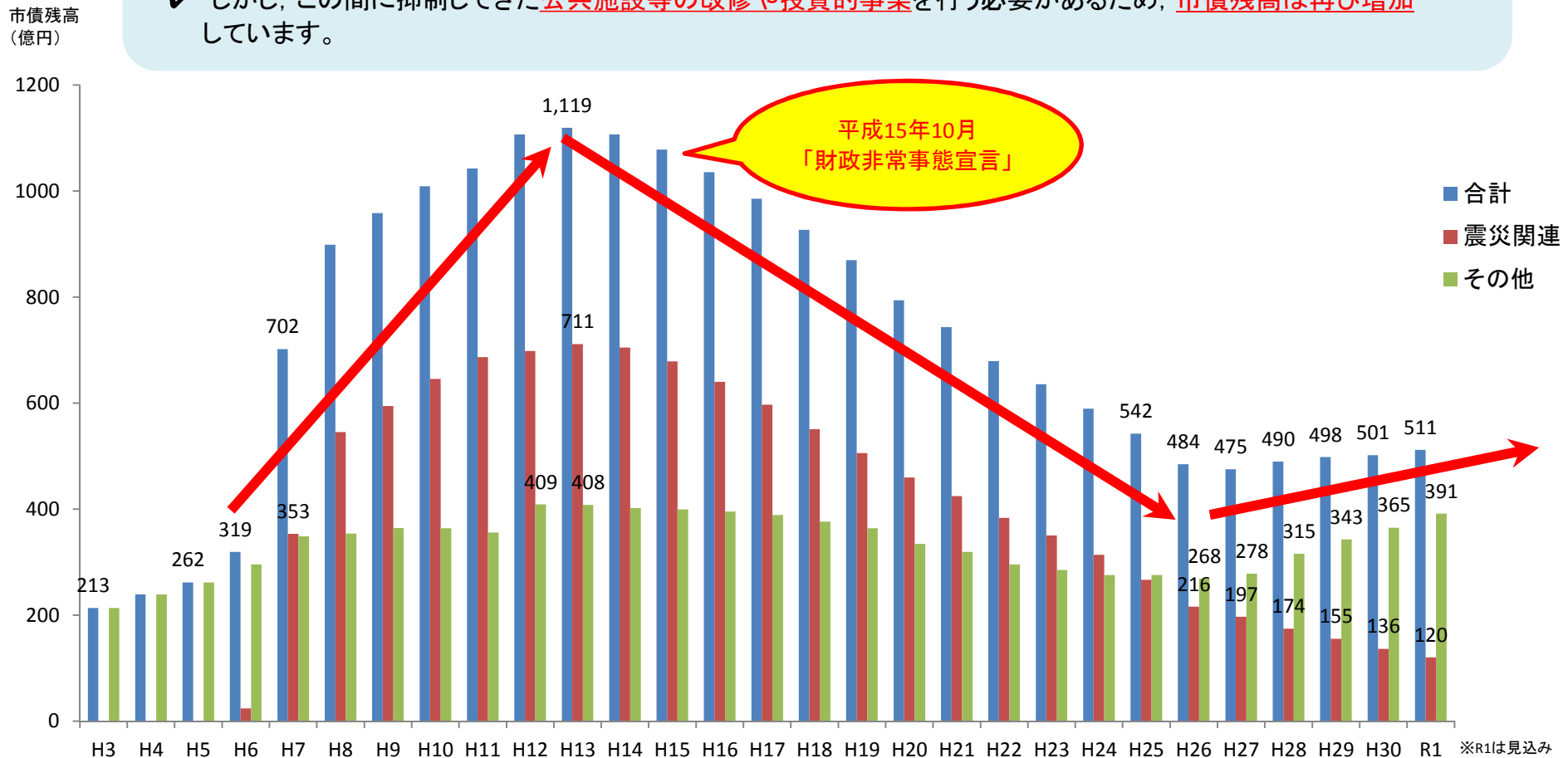
- ✓ 「民生費」は、子育て、医療助成、老人福祉、障害者福祉、生活保護、国保助成、介護保険助成など市民生活の基盤を支える大切な経費です。
- ✓ しかし、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、近年、大幅に増加しており、今後もさらなる増加が見込まれています。

歳出額  
(億円)



## 市債残高の推移（H3年度～R元年度）

- ✓ 阪神・淡路大震災によって急増した市債(借金)は、H13年度に1,119億円に達しましたが、H15年10月に出された「**財政非常事態宣言**」による行財政改革の取組みによって、H26年度には500億円を下回りました。
- ✓ しかし、この間に抑制してきた公共施設等の改修や投資的事業を行う必要があるため、**市債残高は再び増加**しています。



## 安定的な行政サービスの提供のために

- ✓ 市は、特定の分野に偏ることなく、**バランスよく**各分野への行政サービスを提供する必要があります。
- ✓ 将来にわたって、安定的に行政サービスを提供していくために、**効率的で効果的な財政運営**を心がけています。

